



新年あけましておめでとうございませう。新しい年を迎えました。皆様、いかがお過ごしですか？

お正月休みは9連休という方が多かったですね。例年より長いお休みなので旅行に行かれた方もいらっしゃるのでは？

たくさんリフレッシュしたので、今年もお仕事など頑張らましようね♪

さて、今年はおリンピックイヤー♪2月7日から熱い17日間が始まります。昨年、東京オリンピック開催決定や滝川クリステルさんの「おもてなし」が流行語大賞に選ばれるなどオリンピックの話題が盛りだくさん。各競技の代表決定のニュースを目にするようになりまして。カーリングではトリノオリンピックでチーム青森を7位入賞に導いた小笠原さんと船山さんが日本代表として出場します。ベテラン2人が率いるチームの活躍が楽しみです。



ストーンサークルを彫刻したプレートとミニストーン。置物のほかペーパーウエイトにしてご使用できます。

時を同じくして青森市では全国高校カーリング大会が2月8日から11日まで開催されます。ここから未来のオリンピック代表が生まれるかもしれません。当社で寄贈したカーリングねぶたが目印の青森市スポーツ会館で若い力の応援はいかがですか？

今年の干支は「午」ですね。さらに細かく言うと「甲午」になります。年を数える十二支のほか、日を数えるための十干という数詞があります。

本来、干支とは十干十二支のことで、10と12の最小公倍数である60にあてはめていくもので、今年には十干が甲、十二支が午になるので「甲午」となります。これは60パターンの中の31番目にあたります。60パターンあるので、60年で暦が一回りすることになります。60歳になれば、生まれた年と同じ組み合わせが巡ってきます。暦が元に戻ったことで、「還暦」をお祝いするそうです。「還暦」に赤いものを送る風習があります。が、赤ちゃんと還る(生まれたい年の干支に還る)という意味と、赤は魔除けの色とされてきたためだそうです。



歳時記

バンチ除雪隊

今年の冬は根雪になるのが遅かったですね。降り積もった雪でお困りになりましたら番地銘石までご連絡ください。今年もバンチ除雪隊がご自宅へお伺いして、雪片づけを致します。

お電話
下さい

⇒

ご自宅へ
お伺い

⇒

お見積

⇒

時間・金額等
連絡致します

お問合せ先

☎ 0120-75-1483

※屋根に上った作業はいたしません。

排雪も行っております

例) 半日の雪片付け(除雪機込み)を作業員2人で行った場合

24,000円～ ※現場状況によって作業時間や人数が変わります。金額より上下することもありますので、ご了承下さい。



学び舎は生きている

～新町小学校 思い出の像～

鈴木正治さんを偲ぶ

現在の青森県庁の東側に、青森空襲で焼失した新町小学校が建っていました。青い森公園の工事の機会に、ここにあった新町小学校の思い出を残そうと、卒業生のみなさんが運動を起し、記念彫刻を設置することとなり、卒業生でもある鈴木正治さんが作者に選ばれました。昭和59年の秋から、番地銘石の月見野工場で製作開始し、60年の5月に完成しました。

かわいい男の子と女の子が手をつないで歩く姿を6トンほどある1個の原石を削り出して仕上げました。釜石産の青御影石で、石を掘り進み磨き仕上げをしていると、ちょうど男の子の顔のあたりに天然の白い模様がでてしまいました。青い石ですがそこだけ20センチぐらい丸くうすらと白のです。

その時、鈴木さんは「このままでいいよ。昔の子供はたむしやしらくもがよくあったものだよ」とひょうひょうとしていました。

鈴木さんは木彫から石彫を始めたころ、野内川の河原に行き、千刈の自宅に自転車で運んでいましたが、途中で堤町の当社に立ち寄り、私の父の番地堅氏と知り合いました。そのころの鈴木さんは石材加工の道具も不十分だったのですが、父は鈴木さんの創作の揺るがない情熱に打たれて、石屋の使い込んだ道具や、工場出る端材の石をよく分けてあげていました。

鈴木さんはそのひょうひょうとした生き方に辿り着くまで、中国での従軍など様々な体験があったと聞いています。生活のすべてを製作活動に向けて生きてきた思いが作品にこめられています。

戦後の廃墟から先輩のみなさんの努力で豊かな先進国となった日本は、今までのように、より多くより安くより早くの競争の時代を過ぎて、次は自分の信じる価値を追い求め表現していく時代になっていくことでしょう。

鈴木正治さんは自身の人生を通じて次の時代を示してくれているようです。今年4月19日が7回忌にあたります。(番地 常夫)



写真は昭和60年当時の石像設置の現場です。(現在の青い森公園)
左・鈴木正治さん(当時66才) 中・私の長女(当時2才) 右・番地堅氏(当社先代代表・当時52才)

写真コンテスト 当選者発表



ペット供養公園つきかげの郷オープンを記念した、写真コンテスト開催にあたり、たくさんのご応募ありがとうございました。
さまままなペットちゃんの表情で、選考にあたり私共も楽しく拝見させていただきました。
では、お待ちかね(?)の当選者様の発表をいたします。

☆青森市野尻 野 沢様
☆青森市橋本 坪 様
☆青森市原別 様
☆青森市橋本 小松田様
☆青森市大野 田 中様
☆青森市橋本 山 口様

以上の5名様となります。おめでとうございます。
当選された方には、改めてご連絡いたします。

ほのぼの育児日誌

スタッフじゅりこの

昨年の流行語大賞は「じえじえ」今でしょ!「おもてなし」でしたが、一家団欒中に我が家の流行語は何だったかという話になりました。主に子供達が放った言葉で話が進みました(笑)
最近、自分のことをお兄ちゃんというようになった息子は、怒られてえへると「いーんだよ」何がいいのさといのさといのさと言

ちらを逆撫ですることを言い、どこで覚えてきたのか「笑いごとじゃないんだよ」と妙に大人ぶってみたり、仮面ライダーの必殺技「キックストライク」を事あるごとに使っていました。
歌ったり、お手伝いしたりと女の子の面を見せつつも、物の扱いがあらげない娘は、気に入らないことををされると「あつちいっこ」と冷たい態度。遊んでて楽しかったりする「もういっかいやって」と笑顔でお願いできます。まだ2才なのに笑顔を武器にしています。女の子は怖いです(笑)
その他にも多数ありましたが、栄えある(?)大賞に選ばれたのは、娘がいらぬことをされたときに冷たく放つ「バアバ、いーい」でした。「ジイジ、いーい」と、「いーい」も言いますが、やっぱり何かと世話してくれるバアバに発することが多いので大賞という結果になり、バアバは本意ながらも笑いが止まらなくなっていました。
1年で子供達のボキャブラリーが増えたなあと感心してしまいます。みなさんのご家庭で流行語はありましたでしょうか?



編集後記

チーム青森の影響でカーリングを知り、面白さに引き込まれ、五輪最終予選もテレビの前から応援☆ソチでどんな試合展開を見せてくれるか楽しみです。フィギュアの真央ちゃんにも期待!(じゅりこ)